

開講年度・学期	2017年度・前期	授業形態	演習
科目名	基礎演習	科目ナンバー	JASEM1101
英語表記	Seminar for Freshmen	担当教員	藤井 徳展
単位数	2		

科目の主題

法学・政治学の基礎トレーニング

授業の到達目標

とくに、クラス別演習（藤井クラス）について

藤井クラスを少人数のグループに分け、各グループで、1巡目はこちらで指定したテーマでの報告、2巡目は各グループで選定したテーマでの報告をする。

各グループのメンバーは、各報告にあたって、綿密に打ち合わせをしたうえで、法学・政治学の基礎的な素材を取りあげ、必要な資料を自ら収集し、かつ、視角を自ら設定し、分析、検討する。そして、それら準備をふまえたうえで、当日のプレゼンテーションで、レジュメを用いて、客観的に報告する——全体の議論の前提、素材を整備する。そして、それら報告をふまえたうえで、質疑応答において、他人の意見を理解、応答することはもちろん、自分の意見を展開する。

以上を通じて、これから法学・政治学の学修をすすめていくために、基本的な作法（アカデミック・ルール）、基本的な考え方の修得その他、「法学・政治学の基礎」の体得につとめたい。

※基礎演習全体については、次の「授業内容・授業計画」前文を参照のこと。

授業内容・授業計画

法学・政治学の基礎的な素材を取り上げて、それに関連して学生が自主的に調べたことの報告や討論を行う。それを通じて、必要な文献や資料を調査・分析する能力を身につけ、発表・議論・ディベートなどのコミュニケーション能力を磨き、一緒に勉強していく仲間を見つけ教員と学問的な関係を築き、法学・政治学を今後専門的に学んでいくために必要となる力を養う。

次の項目で行う。

0. 初回ガイダンス
- 一. 学情ガイダンス（OPAC検索講習、資料探索ラリー）
- 二. グループ報告（指定テーマ報告、グループ選定テーマ報告）
- 三. 書評コンクール
- 四. 映画鑑賞会
- 五. 全体講演会、書評コンクール優秀者表彰

細目（日程、内容）については、開講時に説明する。

事前・事後学習の内容

演習前には、報告担当グループまたは教員が指定する必読文献または参考文献を読んだうえで必ず予習して、基本的な用語、制度や、問題状況、議論状況を理解しておくこと。演習時かぎりとしなくて、これからの法学・政治学の学修との接続をはかること。

評価方法

演習への参加状況、提出された書評（2000字程度）を総合的に評価する。なお、出席回数が3分の2未満である場合は原則として単位を認定しない。

受講生へのコメント

法学部1回生にとって重要な意義を持つ授業ですので、基本的に法学部1回生全員が参加することを予定しています。

教材

基礎演習共通教材（配付する）

書評コンクール課題図書

以上の教材、図書については、開講時に説明する。

その他

――

履修可能最低年次

1年次生のみ